

かんじきトレッキング

&月山めうのうアクセサリーづくり

第4回朝日自然塾(※)「かんじきトレッキング&月山めうのうアクセサリーづくり」は3月9日(土)に、山形県西川町大井沢地区で、10家族23名の参加者で西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館周辺で、メープルシロップの採取、木々の冬芽観察、月山めうのうのアクセサリーづくり等を体験するなど、参加者の皆さんは、自然の豊かさ、素晴らしさ、そして大切さをそれぞれに感じ取られたと思います。



メープルシロップの試飲



和気あいあいの昼食タイム



スタッフと一緒に

当日は、雲一つ無い快晴のもと、北に月山・湯殿山、南に朝日連峰を望む絶好のトレッキング日和となりました。

参加者の中には、初めてのかんじきに足を取られ悪戦苦闘する参加者も見られましたが、オニグルミやホオノキの冬芽に触れ春の息吹を感じ取っていました。前日の降雪のおかげもあって動物の足跡がくっきりとわかり、突然のリスの訪問に歓声をあげながら、月山・湯殿山、朝日連峰が見渡せるビューポイントに到着。缶バッジ用の写真撮影終了後、本日2回目のそり滑りを楽しみ、全員が約2キロのトレッキングコースを無事踏破しました。

伝承館で昼食後は、もう一つの目玉であろう、月山めうのうでアクセサリーづくりや、家族写真での缶バッジ作成、自然博物館巡りを3班に別れ、班ごとに体験しました。

月山めうのうは、ブナの原生林朝日山地の麓で発見され、大井沢の人達は昔からこの石を飾り石として床の間や玄関先に飾っていました。大自然がつくったこの石を、参加者一人ひとりが丁寧に磨きながら、自分だけのオリジナルの作品に仕上げていきました。

最後は全員で記念写真を撮影し閉会式となりました。朝日自然塾での再会を約束しながら大井沢を後にしました。

今回の自然塾では、西川町大井沢区、西川町自然と匠の伝承館・大井沢自然博物館の方々にご協力頂きました。大変ありがとうございました。



遠くに月山・湯殿山を望む



缶バッジの作成



メノウのアクセサリーづくり

※「朝日自然塾」:東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

林野庁 東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター